

項目	内容	
教師にまつい	学習のねらい	学校教育目標や、めざす児童生徒像を意識したねらいとなっている。 本時のねらいについて、児童生徒の実態に応じて「授業中にどのような力をつけようとしているか」が明確である。
	導入場面	効果的な既習事項の想起や資料提示をし、本時の学習に興味・関心をもたせ、学習の見通しを立てさせている。
	終末場面	めあてに即してまとめている。
		発展問題、評価問題、振り返りの活動をする場面がある。
		次時の予告をして、児童生徒に学習意欲をもたせている。
	児童生徒理解と対応	一人一人に対して丁寧な見取りをしている。
		愛情のある温かな表情や言葉かけをしている。
		児童生徒が話しかけてきたとき、目を見て返している。
		児童生徒が発表したとき、その発言のよさを認めている。
		答えが違っていったときの児童生徒の気持ちに配慮している。
		学習規律を意識して、児童生徒に声をかけている。
		机間指導の際に、一人一人に助言したり、誉めたりしている。
		学習状況の把握（評価）に努め、指導・支援している。
	発問・指名	知的好奇心をくすぐるような発問を工夫している。
		思考を促すよう、発問を工夫している。
		少なく問い、多く答えさせるような発問を工夫している。
		中心発問が具体的で分かりやすい。
		児童生徒が考える時間をとっている。
		指名の仕方に偏りが無い。
	説明・話し方	児童生徒の氏名を丁寧に呼んでいる。
身近な例などを挙げ、具体的に説明している。		
一問一答式で終始したり、先生が話しすぎたりしない。		
板書	声の大きさ、口調、イントネーション、間、心地よいリズム・テンポ、内容の明確さ、明るい話し方等に気をつけて話している。	
	学習課題を明示し、学習の流れが分かる板書になっている。	
	文字だけでなく、写真、矢印、図表等を入れて、構造的な板書になっている。	
	児童生徒の思考を大切にし、児童生徒と一緒に作り上げた板書になっている。	
	色チョークを効果的に活用して、ポイントを示している。	
	字の大きさ、丁寧さ、濃さ、正確さ、筆順、書くタイミング等に気をつけている。	
	板書中も、児童生徒の様子を意識している。	
児童生徒が、板書事項をノートに書く時間を確保している。		
体験活動・作業活動	学習課題の発見や課題解決、学習のまとめ等に、体験活動や作業活動を積極的に取り入れている。	
授業形態	目的に応じて、集団学習（ペア学習、グループ学習）、少人数学習、個別学習、チームティーチング等を取り入れ、学習の形態を工夫している。	
	I C Tを活用し、児童生徒に分かる授業を工夫している。	
服装	T P Oをわきまえた服装、緊急時に備えた履き物である。	

項 目	内 容	
児 童 生 徒 に つ い て	聞く・話す	話している人の方を向き、真剣に聞いている。
		聞き手に体を向け、適切な声の大きさと、伝わるように話している。
	伝え合う	友だちの意見をしっかりと聞き、それについて自分の意見を話している。
		ペア、グループ、全体でお互いに考えを交流している。
	学習に望む態度	体験活動や作業活動に積極的に取り組んでいる。
		発問等に答えようとするなど、積極的に学習に参加している。
		学習の積み上げ、学びの足跡が分かるように、丁寧にノートにまとめている。
		教科書、ノート、教材、けずった鉛筆等、学習用具を忘れないで準備している。
	姿勢等	背筋を伸ばし、いすの座り方がよい。
		ノートと顔までの距離が適当で、片方の手をノートに添えて字を書いている。
	整理・整頓	机上の教科書や筆箱等が、整とんして置かれている。
		机の横に掛けるものが決められ、整っている。
自分のロッカーや机の中が整とんされている。		
中学生	小学校での学習規律が身についている。(小中連携の視点)	

項 目	内 容	
教 室 環 境 ・ 掲 示 物 等 に つ い て	学級目標	児童生徒の思いが込められている。
	教室掲示・環境整備	学級経営に対する教師の思いが表れている。
		学級の歴史・写真・ファイル・文集等、1年間を通した掲示が工夫されている。
		これまでの学習に関する掲示をするなど、学びの過程が見える。
		貼りすぎや無計画ではなく、精選されている。
	掲示計画や内容について校内で協議され、統一感と独自性がある。	
	学年・学級便り	児童生徒の生活の様子が伝わっている。
		児童生徒のよさや成長が書かれている。
		児童生徒の作文等を載せる場合、まんべんなくどの子も取り上げるようにする。
	児童生徒の作品	温かい言葉を入れるなどして評価している。
		作品を丁寧に扱っている。
	飼育・栽培	植物や金魚など、生命あるものが教室内にあり、管理が行き届いている。
	教室の雰囲気	温かさが感じられ、児童生徒が落ち着ける雰囲気である。
	机・いす	身長に合わせた高さに調節されている。
		名札が破れたり汚れたりしていない。
机と机の間隔が適当である。		
本棚・情報機器	学級文庫が整理整頓されている。	
	掃除や整備ができており、児童生徒が活用しやすくなっている。	
清潔	教室のすみにゴミやほこりがたまっていない。	
	黒板及びその周囲が整頓され、清潔である。	
	掃除道具入れやゴミ箱、その周囲が清潔に整えられている。	
	教師机の上や周りが整頓されている。	

研究授業では、その後の話し合いを有意義なものにするために、共通した視点を設けておく必要があります。例えば、このような視点を意識しながら授業参観をしてみてもいいでしょう。